

# あべともこニュース

## 環境と医療と食を守る政策実現を。

### ◆環境問題解決を求め法案提出

昨年12月19日、立憲民主党はアスベスト被害者を救済する為、「特定石棉被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律の一部改正案」とPFAS対策としての「飲み水の安全確保法案」をそれぞれ議員立法として提出する為、法案登録を決定しました。今月24日から開会予定の通常国会で審議される予定です。

アスベスト問題は、国による給付金は既に支給開始されているものの、石綿含有建材メーカーによる補償がないことが大問題です。

PFASについては、規制値がなく、未だ暫定目標にあることに加え、血液検査等健康影響への対策などが不十分です。いずれも人体の影響は深刻ですが、産業発展によって人間自らが作った環境問題にどの様に対処していくか、阿部ともこも環境委員会理事として、引き続き取り組んでいきます。

### ◆学校給食無償化に向けて！

同23日、立憲民主党は、維新・国民と共に、「学校給食無償化法案」を衆議院に提出しました。必要経費高騰の中、無償化は不可欠です。

今回の法案提出にあたり、「現在、保護者が負担する年間の平均給食費は公立小学校で約5万2千円、公立中学校で約5万9千円」であることがわかりました。「学校給食法」でも「学校給食の実施に必要な施設及び設備の整備及び管理、調理の過程における衛生管理その他の学校給食の適切な衛生管理を図る上で必要な事項について維持されることが望ましい基準」ということが定められており、質の確保も重要です。年間およそ4900億円の財源が必要、「チルドレン・ファースト」の政策を実現していきたいと思えます。

野党共同提出 立憲民主党・日本維新の会・国民民主党

### 学校給食無償化法案

公立小中学校の学校給食を無償化します

- 義務教育費は無償、学校給食費は保護者負担。
- 物価高の影響で「隠れ教育費」の負担増。
- 子どもたちが安心して安全な給食を食べられるよう国による一律の支援が必要。

### ◆健康保険証の存続を！

昨年12月2日に新規発行が廃止された健康保険証。廃止後は、「資格確認証」が来ますが、保険証とそっくりです。立憲民主党は、「保険証復活法案」を来国会に向けて準備しています。政府は「マイナ保険証」としてマイナンバーと保険証を紐付けることが受診の利便性を高めると言いますが、実際は、暗証番号を忘れてしまったり、顔認証カードリーダーの不具合で、一旦10割負担で払わざるを得ないケースもあつたと言います。また、登録解除申請が11月30日までの約1カ月間に1万3147件あつたことが厚生労働省から公表されています。

国民の多くが求める従来の健康保険証を存続すべきです。そもそも情報漏洩も危惧されるなか、



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）  
 当選9回、東京大学医学部卒業、  
 小児科医、あべともここども  
 クリニック（湘南台）理事長  
 現在、環境委員会  
 原子力問題調査特別委員会委員

あべともこ  
 公式X (旧Twitter)  
 @abe\_tomoko

[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)

あべともこ事務所  
 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ  検索

図1：マイナ保険証のデメリット（例）

有効期限切れによる利用不可	・マイナンバーカードの有効期限が切れるとマイナ保険証も使用不可 ・電子証明書も5年で更新が必要
紛失時の利用停止	・紛失すると再発行まで使用できず、現時点では再発行に1~2カ月かかる（2024年12月以降は最短5日）
システム不具合の影響	・システム障害や医療機関の機器故障で一時的に利用できない場合がある
一部医療機関の未対応	・全ての医療機関で対応しているわけではなく、未対応施設では現行の保険証が必要
公費負担医療には受給者証が必要	・公費負担医療の利用者は、従来通り受給者証の提示が必要（ひとり親家庭医療費助成、障害者医療費助成など）
情報漏洩リスク	・紛失時に個人情報漏洩するリスクがある。
操作への不安（特に高齢者）	・高齢者にとっては利用時の操作が難しいと感じ、時間が掛かる場合がある
毎回の持参と操作が必要（※）	・受診のたびに提示が必要 ・ただし、厚生労働省の疑義解釈によれば、現時点では月に一度以上の提示で良いとされているため、現行の保険証と比較して、マイナ保険証の提示頻度が増える可能性がある
顔認証と暗証番号	・顔認証が上手くいかない場合、暗証番号で対応 ・暗証番号を忘れて、誤入力時の手間が発生する

出典）BCN Media Portal(2024,11,6)